

こたえ ぶんぶくちやがま

基礎⑤

ぶんぶくちやがま

(日本のむかし話)

むかし、ある寺のおしろうさんが、古い茶がまを買ってきました。

火にかけると、茶がまが「あつい、あつい。」ときけんで、たぬきの頭と足を出しました。茶がまは、たぬきが化けたものだったのです。

おどろいたおしろうさんは、茶がまを古道具屋さんにゆずりました。

たぬきは、古道具屋さんに言いました。

「たすけてくれたおれいに、つなわたりの芸をお見せします。」
たぬきの芸はだいひょうばんになり、たくさんの人が見にきました。

1 おしろうさんは、何を買ってきましたか。

古い

茶がま

2 火にかけると、茶がまはどうなりましたか。

ア わってしまった。

イ たぬきの頭と足を出した。

ウ お湯がわいた。

3 茶がまは、何が化けたものでしたか。

たぬき

4 たぬきが芸を見せたのは、どうしてですか。

ア 古道具屋さんへのおれいのため。

イ おしろうさんにたのまれたから。

ウ おなかがすいたから。

おうちの方へ

- 「ばける」は、すがたをかえることです。